



師団だより

近畿2府4県の平和と安全を担う第3師団の広報紙



令和4年3月
NO. 152

第52回師団定期演奏会

～届け、この思い！「Never Give Up!」～



各種行事・訓練

第52回師団定期演奏会
師団フォトコンテスト
師団練成射撃訓練
中部方面総監初度視察
新着任部隊長紹介
師団隊務優秀部隊褒賞
Spring Fes in ASAGO

第3師団隊員紹介コーナー

近畿の守り人
師団戦士
我が部隊の新戦力
私の大切な物

みんなの架け橋

自衛隊滋賀地方協力本部

職場の豆知識

頭文字



届け、この思い！「Never Give Up!



演奏会の様子



今井隊長による指揮



優秀隊員への師団長褒賞

【来場者のアンケートから(抜粋)】
 「とても素敵な演奏会で本当に感動しました。アンコール曲で涙腺が崩壊しました。演奏者のみなさん、裏で運営に携わった方々にも感謝しています」 (兵庫県在住 40代男性)
 「やっぱりライブは最高です。このコロナ禍みんなで力を合わせて乗り越えようという勇気をいただきました」 (兵庫県在住 50代女性)

師団は、令和4年2月26日(土)、東りいたみホール(兵庫県伊丹市)において、第52回師団定期演奏会を開催した。演奏会は2部構成からなり、第3音楽隊長(今井1尉)の指揮の下、「Never Give Up!」をテーマとして開催された。第1部では、高度な技術を必要とする「プレリューディオ・フェスティバル」から始まり、東京オリンピック開会式の入場行進曲でも使用された「ドラゴン・クエスト」など4曲を演奏した。第2部では、2022年全日本吹奏楽コンクール課題曲のマーチ「ブルー・スプリング」など3曲を披露し、「力強さ」と「繊細さ」を見事に表現した音楽隊の演奏で観客を魅了した。鳴りやまない拍手に応えたアンコールでは、隊長が自ら編曲した「瑠璃色の地球」や陸上自衛隊の観閲行進曲でもよく使用される行進曲「大空」を演奏し、奏者と来場者が一体となって会場の盛り上がりは最高潮に達し、約2時間にあたる演奏会は成功裡に幕を閉じた。また、本演奏会は音楽隊の演奏検閲を兼ねて実施されたが、師団長から「演奏任務を完遂したものと認める」との評価を獲得する等、所望の成果を得て検閲を終了した。この検閲において、自衛隊音楽隊としての威容の発揮に寄与した功績により、小林 茜3等陸曹(クラリネット奏者)が優秀隊員として師団長から表彰された。



第3師団司令部付隊 2等陸曹 井上 智之 撮影 (師団訓練検閲開始前のひととき)

第2位 「戦場の女神」



第3 後方支援連隊 陸曹長 中芝 尚史 撮影 (薄暮時期の陣地進入)

第3位 「進 入」



第7 普通科連隊 陸士長 鈴木 翔 撮影 (部隊集合教育レンジャー帰還式、家族との再会)

第1位 「おかえり」



フォトコンテストの状況

優秀作品紹介

師団フォトコンテスト

師団は、第52回師団定期演奏会の会場内において、第6回師団フォトコンテストを実施した。本コンテストにおいては、師団隷下各部隊から出展された部隊活動等の写真30点を展示し、定期演奏会来場者の投票により優秀作品を決定した。



残雪のあいば野演習場にて各部隊が射撃練度を向上



120mm迫撃砲射撃
(第37普通科連隊)



分隊戦闘射撃
(第7普通科連隊)



戦車射撃 (第3戦車大隊)



155mmりゅう弾砲射撃
(第3特科隊)



87ATM射撃
(第36普通科連隊)



射撃開始前の安全教育
(第7普通科連隊)



師団長視察
(戦車射撃)

師団は、令和4年3月、あいば野演習場（滋賀県）において、師団練成射撃訓練を行った。

本射撃訓練は、隷下各部隊が保有する火器、火砲の各種射撃能力を向上させることを目的として、小銃分隊による戦闘射撃、120mm迫撃砲射撃、87式対戦車誘導弾（87ATM）射撃、155mmりゅう弾砲射撃及び戦車射撃を行った。

120mm迫撃砲練成射撃訓練に参加した第7普通科連隊所属の山本1曹は「本射撃訓練を通じて安全管理の重要性を再認識するとともに、若手隊員を指揮し、任務を完遂した際の達成感はとても大きかったです。これからも1つ1つ任務を完遂し、日々精進します」と語った。



顕彰碑への献花



状況報告



隊内巡視



旗手下番申告



儀じよう
(儀じよう隊：第3偵察隊)



總監訓示

中部方面總監初度視察

第3師団の現状を確認

師団は、令和4年3月25日（金）、中部方面總監（堀井陸将）の初度視察を受けた。

總監は、儀じよう、状況報告を受けた後、隊内巡視を行い、第3師団の現状を確認した。また、總監訓示において、師団の隊員に対し「安全・健全」を要望した。

第 3 師 団 司 令 部 付 隊 長



要 望 事 項

「明るく、楽しく、元気よく、
親切、丁寧」



よねやま としひろ
米山 敏寛 3等陸佐

出身地 埼玉県 期別 03I
部内幹候
第44普通科連隊(福島)から

第 3 通 信 大 隊 長



要 望 事 項

「即応・持続」「自主自立」
「創意工夫」



あきかわ しんご
秋川 新吾 2等陸佐

出身地 北海道 期別 03B
一般幹候(防大)
陸上幕僚監部(市ヶ谷)から

第 7 普 通 科 連 隊 長



要 望 事 項

「即応 連携 創意」



まえの なおき
前野 直樹 1等陸佐

出身地 愛知県 期別 91B
一般幹候(防大)
自衛隊山梨地方協力本部(山梨)から



新 着 任 部 隊 長 紹 介



「物品管理検査優秀」
顕彰板

第 3 高 射 特 科 大 隊



「情報管理検査優秀」
顕彰板

第 3 通 信 大 隊



第 3 級 賞 状

「隊務総総合優秀」

師団は、令和4年3月10日(木)、千僧駐屯地(兵庫県伊丹市)において、各種の隊務において優秀な成果を収めた隷下各部隊を褒賞した。



師 団 隊 務 優 秀 部 隊 褒 賞



華麗なバトン操作
「星条旗よ永遠なれ」



師 団 集 成 太 鼓 隊 に よ る 力 強 い 演 奏
「武 将」



6 人 の 息 が ピ ッ タ リ !
「クラリネット・キャンディー」



一 番 の 盛 り 上 が り を 見 せ た フ ィ ナ ー レ 「 翼 を く だ さ い 」

師団は、令和4年3月13日(日)、和田山ジュピターホール(兵庫県朝来市)においてSpring Festival in ASAGOを開催した。巡回演奏会は、地域の皆様方に師団への理解を深めていただくことを目的として、毎年近畿2府4県内の2ヶ所において開催しており、今回は朝来市との共催により多くの地元の方々が登場した。演奏会の第1部は、第3音楽隊による行進曲「威風堂々」で幕が開き、国歌「君が代」に続きドラムメジャー(鼓手長)のバトン操作に併せた「星条旗よ永遠なれ」を演奏し、自衛隊の音楽隊らしい力強さをアピールした。続いて師団集成太鼓隊(姫路白鷺太鼓・福知山酒呑鬼太鼓)が勇ましく発刺とした太鼓演奏を披露し、来場者を迫力で圧倒した。第2部では、歌謡曲なども含め観て聴いて楽しい演奏を行い、幅広い客層を魅了した。来場者からは「心に残る素敵な誕生日になりましたありがとうございます」、「コロナで出かけることが少ない中での演奏会でとても心が晴れやかになりました」等の温かい声をいただいた。



朝 来 に 笑 顔 の 花 が 咲 く



近畿の守り人

2011年3月11日午後2時46分、宮城県三陸沖を震源とする東日本大震災が発生。地震発生を受け、第3師団から多くの隊員が被災地に駆け付け、人命救助、行方不明者の捜索、生活支援の任務を遂行した。あれから11年。当時の災害派遣活動に従事した隊員から話を聞いた。

第3師団司令部付隊の小島 隆太(こじま りゅうた) 2曹は、両親が自衛官であり、幼いころから「人の役に立ちたい」との思いを胸に陸上自衛隊少年工科学校(現在・陸上自衛隊高等工科学校)に入校。卒業後に最初に配属されたのが第3後方支援連隊だった。それから約6年後、東日本大震災が発生し、初めての災害派遣への不安を感じながらも、入隊前から抱いていた「人の役に立ちたい」という強い思いを胸に被災地へと向かった。

現地では、入浴支援隊の一員として、被災された方々に少しでも元気を取り戻してもらえようという思いで任務に当たった。活動中、特に印象に残ったのは、入浴所に毎日来る子供達と話すうちに仲良くなり、逆に元気をもらったこと。「あの時頂いた『ありがとう』の言葉が、今の自衛官人生を支えてくれている」と当時を振り返る。

現在、第3師団司令部第4部通信補給陸曹として勤務にまい進する小島2曹。いつまた起こるかわからない災害に対応できるように物心両面の準備を整え、積極的に職務に取り組んでいる。



小島 2曹



当時の活動写真

師団戦士

「自分の役割」



第37普通科連隊第5中隊 3等陸曹 西本 幸輔

第37普通科連隊 第5中隊に所属する西元 幸輔(にしもと こうすけ) 3曹へのインタビューです。西元3曹は、迫撃砲小隊に所属し通信手として活躍中です。

出身地、陸曹候補生課程入校年度は。
A 大阪府出身で第138期(令和3年1月)入校です。

合格通知を受けた時の心境は。
A 合格できたことにホッとするとともに、陸曹になるという責任の重さに少しだけ不安も感じました。

印象に残っている訓練は。
A 迫撃砲の実射訓練です。学生主体で実施する射撃は、これまでの射撃の中で最も責任の重さを感じました。

特に苦労したことは。
A 武装走です。必死に練成をしたことを覚えています。

特に学んだことは。
A 自分の役割を考え、一步先の行動をとることです。

陸曹になっての心境の変化は。
A 今がスタートラインです。知識と技能を常に磨き続けます。

今後の部隊での目標は。
A 迫撃砲分隊長として後輩隊員の育成をし、小隊の屋台骨となるような陸曹になりたいです。

陸曹を目指す後輩隊員に一言
A 物事の先を読める力を身に付けよう。

我が部隊の新戦力

「強い『漢』を目指して」



第7普通科連隊第5中隊 陸士長 堀 夢之

第7普通科連隊第5中隊に所属する堀 夢之(ほり ゆめの) 士長へのインタビューです。

出身地、入隊年度は。
A 滋賀県高島市今津町出身、令和2年4月に入隊しました。

入隊の動機は。
A 実家近くに演習場があり、普段から自衛隊の仕事に興味を持ち、私も人のために働いてみたいと思ったからです。

新隊員教育の区隊・班は。
A 前期は、109教育大隊316中隊5区隊1班で、後期は第7普通科連隊教育隊の2区隊3班です。

新隊員教育での思い出は。
A 防護マスク性能体験訓練で、催涙ガスが充満する天幕内で長瀬剛の「とんぼ」を歌ったことです。

現職務のやりがいは。
A 小銃手として与えられた命令を遂行するだけでなく自ら考えて行動し、任務達成に貢献することです。

現職務で苦労していることは。
A 夜間の戦闘訓練です。暗視装置を用いるか、いかに敵を捕捉して損耗を与えられるか、試行錯誤しています。

尊敬(目指している)先輩は。
A 同じ小隊の小隊陸曹(植原1曹)です。知識・経験共に豊富でリーダーシップがあり、とても憧れています。

営内での生活はどうですか。
A 頼りになる先輩と、かわいい後輩に囲まれて充実しています。

今後の目標を教えてください。
A 知識・技能を更に磨き、ただの「男」から強い「漢」になることです。

私の大切な物「地元の牛乳」

第36普通科連隊第1中隊の川 和克(かわ かずよし) 3曹が大切にしている「地元の牛乳」を紹介してもらいます。

淡路島にある私の地元・兵庫県洲本市は酪農が盛んな町で、私の実家も酪農を営んでいます。ひょっとしたら他の事業所等を通じて、みなさんの食卓にも私の実家で搾乳した牛乳が並んでいるかもしれませんね。この地元で採れた牛乳を学校給食等で毎日飲んでいたこともあり、故郷を離れた今も「淡路島産牛乳」を見かけるとつい手に取ってしまいます。

牛乳は、どれも同じような味に感じる方も多いかと思いますが、飲み比べてみると産地等によって味わいも異なり、私にとって地元の牛乳は懐かしく思い出のある味で、心が満たされ力が沸き上がります。

自衛官は体が資本の職業です。みなさんも牛乳を飲んで、元気良く訓練にまい進しましょう！



第36普通科連隊第1中隊 3等陸曹 川 和克

滋賀地本 New Face

滋賀地本に 登場 !!



この冬 滋賀地本の広報車両に新しくラッピング車が誕生しました。

滋賀には湖西に大津駐屯地と今津駐屯地がありますが、そのほかの地域では自衛隊を身近に感じられる機会が少ないため『自衛隊を知ってもらおう!』という思いで誕生しました。

日本に…いや世界に一台だけの車。種類は三種ありそれぞれに個性が光ります。

滋賀にお越しの際は探してみてください！見かけたらかきっといい事があるかもしれません。イケメン広報官が運転しています。



滋賀地方協力本部 募集課

☎ 077-524-6446 (内線: 8-729-522)



大会後、活動報告に来られ、選手団のサイン入り写真をいただきました。本大会の疲れも見せず既に次のオリンピックを見据えておられました。滋賀地本はこれからも山田選手を応援していきます！

滋賀地本 トピックス

2020 東京オリンピック 開催!!

滋賀県 甲賀市出身の山田聡子選手(自衛隊体育学校)が大会前に滋賀を表敬訪問！これからオリンピックを目指す・目指している選手達に向け、熱いメッセージをいただきました。



滋賀県 栗東市出身の漫画家・森田まさのり先生にポスター原画を作っていただきました！募集・試験案内等でJR・鉄道主要駅やバスに掲示されました。これからもいろんな所で掲載していきますので楽しみに！

2府4県 みんなの架け橋

近畿2府4県に在る各自衛隊地方協力本部からの情報発信コーナー！

職場の「頭文字」知識

「頭文字」知識

最近目にした資料の中に、下線が引かれ「P」と注記された一文を見かけました。「これは重要なポイントの『P』なんだ」と気を引き締めていると「ペンディング(保留)のP」と指摘を受け、少し顔を赤らめることがありました。このような英単語等の頭文字又はそれらを繋げた頭文字(アクロニム)は、その意味やルールを知っておくと意思疎通の手段として色々便利ですが、もし理解が浅いまま話が進むと…。今回は、自身が勘違いした頭文字をいくつか紹介します。

●「JOIT」で学習します。

カナ標記で説明しますが、これは「オン・ザ・ジヨブ・トレーニング」の頭文字で「職場内訓練」とも訳され、実際の現場を通じた教育や研修のことを指します。最先端の学習機器だと思った人は、私だけではないはずですよ。

●この案件、「ASAP」でお願いします。

「アサップ」又は「エイサップ」と読み、このように1つの単語のように読み上げる頭文字をイニシャルズ・スーン・アズ・ポッシブル」の頭文字で「できるだけ早く」という意味です。職場では「なるはや(なるべく早く)」に押されてあまり聞かない気もしますが、民間企業等では一般的なのか、友人からのメールに記載があり、「この案件、なかつたことでお願います。」と勝手に意味を解釈してしまい、大事に至るところでした。

●中の台に「ATM」x1

一般的には「オートマチック・テラー・マシン(現金自動預け払い機)」ですが、自衛官なら前後の文脈から、当然「アンチ・タンク・ミサイル(対戦車誘導弾)」でしょう。同音異義には注意が必要ですね。

紹介は一部となりましたが、頭文字はこのほかにも多数存在します。頭文字は時代とともに増加や進化が続きものと思われませんが、誤解を生まないためにも、使用者と受け手の両者が正しく意味を理解していることが重要ですね。

陸上自衛隊第3師団は、近畿2府4県(滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山)の防衛確保・災害派遣等を主たる任務としております。

TEL. 072-781-0021
〒664-0014 兵庫県伊丹市広畑1-1 千歳駐屯地

陸上自衛隊 第3師団

TOP PAGE | INTRODUCTION | DIVISION COMMANDAR | ACTIVITY CONDITION | PR MAGAZINE | HP LINK | CONTACTUS

EVENT INFORMATION | PHOTO CONTEST | ACCESS

TOPICS | NEWS

令和4年2月28日 第3師団広報誌「師団だより(2月号)」を更新しました。
令和4年1月25日 第3師団広報誌「師団だより(1月号)」を更新しました。

第3師団ホームページでは、過去の3師団だよりや、開催予定イベントの紹介などを逐次更新しています！

ツイッター、フェイスブックも更新しているので、是非遊びに来てくださいね！

ホームページ | Twitter | facebook

マスク着用 | ソーシャルディスタンス